

【一般の部（絵画部門）】最優秀賞

ドン・ルイス1世橋とポルトの街

大垣 早代子 氏



（作者コメント）

2016年2月にポルトガルの旧首都ポルトを訪問しました。ポルト歴史地区は街と共にドン・ルイス1世橋が世界遺産になっています。この橋はエッフェルの会社が設計および施工を行い、1886年に完成しています。支間長172mのブレースドリブタイドアーチであり、上路はトラムと歩道として、下路は車道として供用されています。

完成後130年を経てなお、トラムや大型車両が通行している姿にとても感動しました。テンペラ画で描きました。

【一般の部（絵画部門）】優秀賞

結びの情景～トルコ第二ボスポラス海峡大橋を望む～

米今 均 氏



（作者コメント）

トルコイズミット湾に架ける吊り橋の製作指導者として出張中、最初の休日に訪れた場所。非常にシンプルな橋の景観と古の城郭が融合し、目の前で現実に見える姿、架け繋がれてきた光景に感動し、残すべき一画としました。

【一般の部（絵画部門）】入賞

橋と鳥

鈴木 麻由 氏



（作者コメント）

隅田川は多くの橋が架かっているので、何処を散歩しても楽しいです。

【一般の部（絵画部門）】入賞

Le Viaduc de Garabit

吉澤 美歩 氏



（作者コメント）

2024年のパリオリンピック開催に因み、フランスの橋を描いてみることにしました。中でも、今回題材として選んだ「ガラビ高架橋」は、峡谷に架かる自然風景の中に映える朱色の橋として強く印象に残り、一度描いてみたいと思っていました。また、この橋は、私が学生時代に海外研修の一環としてフランスを訪れた際に上がったエッフェル塔の設計・建築をしたギュスターヴ・エッフェルの手掛けた橋であることも知りました。実際にガラビ高架橋を描く中で、その構造の緻密さ、複雑さに改めて圧倒されました。

【一般の部（絵画部門）】入賞

岩瀬高架橋

小島 正嗣 氏



（作者コメント）

茨城県桜川市にある、北関東自動車道の岩瀬高架橋です。私が勤務する会社が建設工事を受注して、私が設計管理技術者と現場監理技術者を担当しました。

仕事はハードで、就寝前に司馬遼太郎の「坂の上の雲」を読んで自分を元気付けていました。

竣工検査の翌日は、ストレスが解放されて、いつも見ていた景色がきれいに見えました。

橋と雲と筑波山と花畠を絵にしました。